



■令和2年度IT支援者養成研修（この講座は終了しました）

※新型コロナウィルス感染予防対策に基づき、定員を例年より縮小し、感染予防に努めた環境で実施します



1.目的

障害者のIT支援関連を担当する区市町村職員、障害者福祉センター、障害者就労支援センター等の地域支援者等を対象に、障害者IT支援のための研修を開催し、区市町村における障害者のIT利活用のための基盤を整備する。

2.対象者

- (1) 障害者のIT支援関連を担当する東京都内の区市町村の職員
- (2) 障害者のIT支援関連を担当する東京都内の地域支援者等
(障害者福祉センター、障害者就労支援センター、福祉施設の職員等)

3.研修内容

研修コース表

コース1 聞こえない、聞こえづらいを支える **NEW** 9月1日・4日(両日同内容) 終了しました

概要	聴力とコミュニケーションの困難をカバーする会話補助的な支援技術(意思伝達装置を除く)	
カリキュラム	<ul style="list-style-type: none"> ・聴力とコミュニケーションに困難をかかえる障害について ・聞こえない聞こえづらい方のコミュニケーションを助ける支援技術のデモと演習 (専用機、汎用機、周辺機器の活用例、スマートフォン・タブレットの実機体験) ・事例とポイント 	
コースの活用	聴覚障害によりコミュニケーションが困難になっている方の支援を、道具を通して考えるコース。 聞こえを助ける様々な専用機や、音声認識、筆談など多様なコミュニケーション方法を体験し、教育や就労の現場で活かせる事例を知る。	
主に対象となる障害	聴覚障害	

コース2 コミュニケーションを支えるコース 9月15日・18日(両日同内容) 終了しました

概要	コミュニケーション障害をカバーする会話補助的な支援技術(意思伝達装置を除く)	
カリキュラム	<ul style="list-style-type: none"> ・コミュニケーションに困難を抱える障害について ・コミュニケーションを助ける支援技術のデモと演習 (専用機、汎用機、周辺機器の活用例、スマートフォン・タブレットの実機体験) ・事例とポイント 	
コースの活用	発達障害、言語障害等によりコミュニケーションが困難になっている方の支援を、道具を通して考えるコース。 文字盤、絵文字での会話など多様なコミュニケーション方法を体験し、教育や就労の現場で活かせる事例を知る。	
主に対象となる障害	発達障害、言語障害 等	

コース3 意思伝達を支えるコース 9月29日・10月2日(両日同内容) 終了しました

概要	意思の表出が困難な方のための意思伝達を中心とした支援技術	
カリキュラム	<ul style="list-style-type: none"> ・意思伝達に困難を抱える障害について ・意思伝達を助ける支援技術のデモと演習 (専用機、汎用機、周辺機器の活用例、スマートフォン・タブレットの実機体験) ・事例とポイント 	
コースの活用	脳血管障害の後遺症や全身性障害の方など、意思伝達が困難になっている方の支援を、道具を通して考えるコース。	

	スイッチ押下による文字やシンボルの選択の他、利用者が増えつつある視線入力など新しい技術を体験し、補装具等制度利用の現状を知る。自宅あるいは病院等で、生活のステップを支えていく際の資料となる。
主に対象となる障害	ALS, 脳血管障害の後遺症等で、意思伝達、意思表出が難しい方

コース4 肢体不自由による操作困難を支えるコース 10月13日・16日(両日同内容) **終了しました**

概要	物理的な操作に困難さを抱えるケースでの支援技術
カリキュラム	<ul style="list-style-type: none"> 操作困難を抱える障害について 操作困難を助ける支援技術のデモと演習 (専用機、汎用機、周辺機器の活用例、スマートフォン・タブレットの実機体験) 事例とポイント
コースの活用	肢体不自由の方の困難さをケース別に考え、道具を通して支援技術を考えるコース。 Windowsやスマートフォン・タブレットが基本機能として持っているアクセシビリティを学び、操作特性を実機体験で理解する。 就労支援の現場への情報提供にも。
主に対象となる障害	上肢障害(肢体不自由)

コース5 見えない、見えづらいを支えるコース 10月27日・30日(両日同内容) **終了しました**

概要	視覚的な困難さを抱えるケースでの支援技術
カリキュラム	<ul style="list-style-type: none"> 視覚障害について 弱視、あるいは全盲の方を助ける支援技術のデモと演習 (専用機、汎用機、周辺機器の活用例、スマートフォン・タブレットの実機体験) 事例とポイント
コースの活用	弱視や全盲の方の情報利用の困難さを実機体験を通して知り、支援を考えるコース。 Windowsやスマートフォン・タブレットが基本機能として持っているアクセシビリティや、専用ソフトなどを学ぶ。
主に対象となる障害	視覚障害(全盲、弱視)、その他視力があっても見えづらさをかかえている方

コース6 理解、認知、記憶を支えるコース 11月10日・13日(両日同内容) **終了しました**

概要	障害や疾病により、理解や認知、記憶等に困難さをかかえるケースの支援技術
カリキュラム	<ul style="list-style-type: none"> 理解、認知、記憶等に困難をかかえる障害について 支援技術のデモと演習 (専用機、汎用機、周辺機器の活用例、スマートフォン・タブレットの実機体験) 事例とポイント
コースの活用	最新のテクノロジーだけでなく、アナログな道具も見直し、記憶や認知などの個別の困難さの解決を考えるコース。 活用事例を知り、地域で難しさをかかえる方への情報提供に。また、教育や就労の場の力の引きあげを考える。
主に対象となる障害	発達障害、高次脳機能障害、知的障害、失語症等

•研修の特徴

上表の6つのコースから、地域の課題にあわせて必要とするテーマを選択する(1コースでも全コースでも受講可)。

多忙な業務の中で、喫緊の課題について学ぶことができる。

★IT支援を必要とする現場(用具給付、生活支援、就労支援、教育支援等)を想定し、遭遇しがちな事例の検討を行う。

★タブレットやスマートフォンなど身近な機器で実現できる技術を中心に、実機体験を含め現場対応力を高める。

★授業ごとに最新リーフレットを配布。バインダー式で受講ごとに蓄積され、業務で活用できる便利な保存資料に。

4.研修日程

(1)コース1 終了しました

9月1日(火)、9月4日(金)(研修内容は各日とも同じ) 午後1時～5時

(2)コース2 終了しました

9月15日(火)、9月18日(金)(研修内容は各日とも同じ) 午後1時～5時

(3)コース3 終了しました

9月29日(火)、10月2日(金)(研修内容は各日とも同じ) 午後1時～5時

(4)コース4 終了しました

10月13日(火)、10月16日(金)(研修内容は各日とも同じ) 午後1時～5時

(5)コース5 終了しました

10月27日(火)、10月30日(金)(研修内容は各日とも同じ) 午後1時～5時

(6)コース6 終了しました

11月10日(火)、11月13日(金)(研修内容は各日とも同じ) 午後1時～5時

5.定員

各コース8名程度

6.受講料

無料

7.申込方法

[別紙「令和2年度障害者のIT支援者養成研修受講申込書」をFAX](#)

8.申込について

申し込みの順に受け付け、1事業所からは1名の受講を基本とする

2名以上希望がある場合は補欠として受け付け、実施1週間前に空席がある場合に限り、センターで調整のうえ、受講できる場合がある

9.申込先及び講習会場

東京都障害者IT地域支援センター

【所在地】〒112-0006 文京区小日向4-1-6

東京都社会福祉保健医療研修センター1階

※講習会場は3階303演習室

【電話】03-6682-6308

【FAX】03-6686-1277

[戻る](#)

Copyright (C) 2004 Tokyo ITC All rights reserved.